



二葉幼稚園

2020年
園のたより



7月の聖句

きょうを よろこびいわい よろこびおどろう
しへん118:24

7月のさんびか

うみでおよぐ

幼児さんびか 23

遊びこむ



厳しい暑さの中、6月より園生活が始まりました。4グループに分かれての入園式。マックス9組の保護者と新入园児。式はあっという間でしたが、その後、1組ずつ親子での記念写真を撮り、先生達とも一緒に撮り、しっかりとお互いに挨拶を交わし、見送るという流れでした。短いながらもゆったりとした雰囲気の中で、確かな出会いの一時となりました。

「分散」という考えは今まで一度もありませんでした。最初は不安もありました。皆さまも同様だったと思います。入园したら毎日登園は当然！今まで当たり前だった日常が少し立ち止まることによって、見え方も変わりました。少人数クラスの半分だから、より一人一人に関わられます。先生達のクラス日誌を読むと今まで以上に一人一人のこども達の様子や表情が手に取るように伝わってきます。それだけ個々に深く関わり、観察、洞察、内省ができていますのだと思います。

年中長に至っては、前年度に築いた友達関係や先生達との信頼関係が基盤となっているとはいえ、進級し、新たな人的、物的環境、新園生活様式に慣れるには時間が必要です。特に自粛生活で戸外遊びもままならず、例年なら四季の変化に心も身体も徐々に慣れて体力がつくところ、突然の真夏日の登降園。保護者の皆さまにも「リズムに慣れる」時間が必要だったことでしょう。毎日の何気ない積み重ねがいかにか大切かを実感します。

分散で人数が半減したので、こども達にも新しい関係が芽生えます。慣れ親しんだ友達や先生が恋しい新年度ですが大丈夫！こども達の力は大人の想像以上です。そばに寄り添う大人達が、「大丈夫」と思っていれば、尚のこと、こども達にも不思議と安心感が伝わります。安心感に包まれるとこども達は自然に探索行動を開始します。二葉幼稚園の魅力は、教職員のみならず、それぞれのご家族も我が子だけでなく、言葉はなくとも他のこども達の様子を気かけ、温かなまなざしで見守っていて下さるところです。

また、人数が少なくなったことにより、一つ一つの活動前後、準備や片付け、集まるまでの時間が短縮されるので、全員の時には一日にメインの活動が1つだったところ、2つも3つも、と一日の保育内容が濃く豊かになりました。おかげで体力のある年長さんですら、午後保育の日、降園前にウトウトと眠っている姿も数人見られたそうです。

先日、どろんこ遊びをした年長さん。心も身体も解放され、泥の温泉？やどろんこ池に寝転がったり、ジャンプしたり、思い切り、遊びこみました！最後までどろどろをこよなく楽しんだ囃ちゃんとおくん。「あ～、た～のしかった～！！今まででいちばん、楽しかった！！」と。そばで見ていた年少さん。羨ましそうに「ねえ、何してるん？」と聞いたり、思わず靴を脱いでたり。年中さんは泥んこ池を囲み、じ～っと見つめています。◇くんがタイヤをパッサ～ン、飛び散る泥水に歓声が上がると同時にズカズカ泥池へ入っていきました。7月、やっと全員集合です。神さまに守られながら「今日を喜び祝い、喜び躍る」ほどに、皆で再会を祝し、思いっきり遊びこみたいと思います。【園長】